

## ispace、NASA の CLPS タスクオーダー CP-12 実行に向け ドライパーより 770 万米ドル（約 11.5 億円<sup>(1)</sup>）の追加契約金を受領

株式会社 ispace（東京都中央区、代表取締役：袴田武史、以下 ispace）（証券コード [9348](#)）は、当社米国法人である ispace technologies U.S. (ispace-U.S) が、NASA 商業月面輸送サービス（CLPS）のタスクオーダーCP-12 の契約に基づき、当社のパートナー企業であるドライパーより約 770 万米ドル（約 11.5 億円<sup>(1)</sup>）の追加契約金を受領したことを本日発表しました。

<sup>(1)</sup> 2025 年 2 月末時点の TTM レートを使用し円換算

ispace のミッション 3 は当社米国法人による商業的な月着陸船輸送サービスであり、NASA による CLPS のタスクオーダーCP-12 の一環として、ドライパーを通じてサービス提供される予定です。

2026 年に計画されているこのミッションでは、ispace-U.S. が開発する APEX1.0 ランダーが、米国政府および民間企業による複数の月面科学向けのペイロードを、月の裏側、南極付近に位置するシュレーディンガー盆地へ輸送し運用する計画です。月着陸船は宇宙空間を航行中、直接地球と通信することが可能な一方、月面上での通信確立のために ispace U.S.は軌道上に 2 機の [リレー衛星](#)を展開することも計画しています。

### ■ ispace technologies, U.S., inc (<https://ispace-us.com/>)について

コロラド州デンバー郊外に位置する、株式会社 ispace の US 法人。地球から月への輸送サービスを政府及び民間顧客に提供する米国の月開発企業。月の資源活用に着目し、月、及び地球と月の間において人類の生活圏、経済圏を構築することを目指している。ispace U.S.は米国で設計・製造・打ち上げが行われる APEX1.0 ランダー開発の中心地であると同時に、北米における事業の拠点としての役割を担う。Team Draper の一員として、アメリカ航空宇宙局（NASA）の商業月面輸送サービス（Commercial Lunar Payload Services, CLPS）に採択され、NASA が後援する 3 つの科学ペイロードを月周回軌道及び月面へ輸送する予定。ispace U.S. CEO の Ronald J. Garan Jr.は元 NASA 宇宙飛行士であり、宇宙産業における第一人者。彼を含む ispace U.S.の経営陣には、米国の数々の宇宙プログラムにおいて活躍したプロフェッショナルが集結。

### ■ ドライパーについて

非営利団体のエンジニアリング・イノベーション企業であるドライパーは、米国の国益と安全保障上のニーズに応え、政府、学术界、産業界において技術の推進を図り、次世代の革新者育成と複雑な課題の解決に取り組んでいます。1600 名に及ぶエンジニアや科学者の幅広い人材プールから集められた多分野にわたるチームが協力し、他に類を見ないソリューションの開発に取り組んでいます。ドライパーの公平なアプローチにより、同社は顧客のニーズに焦点を当て、新たな能力を提供することが可能となります。詳細は [draper.com](http://draper.com) をご確認ください。